



Official TEST Report 2026/2/25～26 SUZUKA 1st Official test

2月25・26日に三重県鈴鹿サーキットで行われた全日本スーパーフォーミュラ選手権の公式テスト。開幕戦前唯一の公式テストでかつ、鈴鹿サーキット西コース部分の路面舗装が張り替えられたことの確認もありとても重要な2日間になる。

DOCOMO TEAM DANDELION RACINGは、昨シーズンと変わらず、5号車 牧野任祐選手、6号車 太田格之進選手で2026シーズンを戦う。

公式テスト1日目は、前夜遅くから雨が降り始め、終日ウェットコンディション。

時折雨脚が強まる中、チームはマシンの基本動作チェックからスタートした。

スピン車両やクラッシュも度々発生し数回の赤旗中断もあったが、牧野選手、太田選手共に淡々とテストメニューを消化、太田選手は午前中のセッションを2番手で、牧野選手は午後のセッションを2番手で終えた。

2日目は朝から青空が広がるものの、風は強弱を繰り返し、気温変化も大きく路面コンディションは不安定。ダンパーセットアップ、空力関連のテストなどやるべきメニューは多く、両ドライバーとも積極的に走り込んだ。セッション最後にはA組、B組に分かれて10分間のアタックシミュレーションが設定された。

A組 牧野選手は第1セクターで唯一の25秒台の全体ベストタイムを記録したが、第2セクターでハーフスピン。無事体勢を立て直したがアタックは不発に終わった。

太田選手は全体的にタイムを伸ばせず、11番手でテストを終えた。

5：牧野任祐 選手 テスト1日目2位、テスト2日目12位

鈴鹿サーキット西コースの新舗装のフィーリング確認など、多くのプランを準備してテストに取り組みました。リザルト上はあまりよくない感じですが、問題なくメニューも進める事が出来、感触としては非常にいいテストになりました。様々なトライの中、良い部分が見つかったのですが、4月開催となった開幕戦もてぎで採用できるかどうかは、これからデータを見ながら検証が必要ですね。

コース路面が新しくなっているもてぎに向けても、過去データ含め再検証して臨みます。

6：太田格之進 選手 テスト1日目12位、テスト2日目11位

タイムを追いかけるというよりは、多くのアイテムの確認を主眼にテストメニューを組んで臨みました。牧野選手と共にデータをシェアしながらマシンの方向性も確認できた収穫の多いテストになりました。開幕は昨年2連勝したもてぎなので心配はしていませんが、ライバルも強くなっているし、路面が新しくなっている事もあり油断せずに準備したいです。